

渡邊祐斗さんは浜松市にある特別支援学校に在学中、エイケン工業株式会社へ職場実習に行き、それがきっかけで平成26年に同社へ入社しました。渡邊さんは「職場実習をさせてもらった際、自分が働きやす

そうな環境が整っているように感じました。また、会社の規模が大きいことから、自分の生活や将来を安定させられると考えたので入社を決めました」と力強く話します。

コンベア上に設置された乾燥炉から出てくる自動車のフィルタを目視で選別し、良品を箱に詰める作業をこなしています。実際に仕事の様子を見てみると、動きの早さに驚きました。テキパキと仕事を進める姿はま

## 障がいのある人もない人も 自分らしく生きられる社会へ

特集では、障害者雇用の実態やジョブコーチの存在について取り上げました。最後に7ページで掲載したエイケン工業株式会社で働く、障がいがある従業員の声を紹介します。

カメラの先には、仕事や今後の将来について考える普通の青年の姿がありました。